



発行 長崎市中川2丁目2番5号 長崎高教組会館 長崎県高等学校教職員組合 (095)-827-5882 FAX (095)-826-2976 編集責任者 平井秀治 一部 10円

高教組メールアドレス info@nagasaki-kokyoso.org

へドロ撤去しできなかったが喜んでもらった 次は生徒とともに参加予定

大震災救援ボランティア参加の代議員

6月18日に開催した長崎高教組第82回定期大会では活発な討論が行われました。その要旨を2回にわたり紹介します。

生活向上、教職員の権利

やっぱり 職場要求書が大事

田島代議員(波佐見) もあるが、他の分会の要職要求書をつくって 求書を利用するなどした。大きな成果があった校長交渉することが、未だ、手間をかけずにつくわけではないが、やる組合員にアピールする大きな工夫をしたらどうか。とが大事。

定期大会 討論特集



▲討論を聞く大会参加者

▼カンパの報告をする平井委員長と お礼を述べる江頭代議員



大会で募金35,258円集約

江頭さんを慰労

5月、全教・日高教の東日本大震災救援ボランティアに参加した江頭佐世保支部書記長。この活動を側面から慰労するために、82回定期大会当日、出席者による募金にとりくまれました。

江頭さんは「みなさんに逆に心から感謝します。ありがとうございます。ごさいます」と述べました。

集約された募金は三万五千五百八十八円にのぼり、大会会場で平井委員長を通じて本人に渡されました。

江頭さんは「みなさんに逆に心から感謝します。ありがとうございます。ごさいます」と述べました。

各地での行進を行った。

小田代議員(小浜) 職場要求の実現という点では、生徒指導や教育の文化財保護主事の勤務

林さん(傍聴・巻岐) 文化財保護主事兼務の辞令で転勤して8年にな

前田代議員(佐中昼) 未組合員の人事だが、離島から転居した女性

高教組の夏季教研 高教組は教育研究会

馬場博志著 随筆集『芝広場』 馬場さんは今春、定年退職した。現職中に学級通信や職場情宣紙

YOUKOSO KYOUKOSO KOUKYOUSO

相談の研究会の出張の際に、学校としての会費を職員が立替払いしている問題をなんとかできないかと思っている。事務室から前払いで会費を渡してもらっている学校を渡したら教えてほしい。(前払いの分会から事例が紹介された。)

鍛冶代議員(諫農) 定年制延長にかかわる要求で、退職手当の改善をするなどというのはそのとおりだが、最近の状況を考えると強行される恐れもある。また、定年延長になっても65歳まで生きているのかとも思う。

河本昇編集 『資本論を読む』 河本さんは高教組OB。今の時代、『資本論』をもとに社会を見て、考えることが必要として大学の先生や元高校教師仲間を中心にサークルを結成。2年にわたる学習の成果をまとめ一冊の本に。千円書記局にあり。

HP http://nagasaki-kokyoso.org

組織強化・拡大

組合の話 よく聞いてくれる

田中代議員(島原特支高) こともなく、最近も2月2日に開催した障害児 間近話を聞いてくれる教育の西プロ学習交流集。組合アレレギーがな会は、全体で73人の参くた。組合アレレギーがな加があった。県内は高校 全国の話があったが、私からの5人を含む30人もそれを感じる。粘り強くやっていたい。

鈴木代議員(鳴滝通信) 支部内では、今年度、長商で2人が加入。昨年

度も2人の加入があり、2年間で4人の拡大。背景として、分会として市教委との交渉をしてきて見える活動をしていくことがある。

加入の際の心配として、これ以上忙しくなるのではないかと言われたことに対して、みんな組合の仕事も少なくして、いこうと話をしていくことである。

田島代議員(波佐見) 昨年、分会長になって考えたのは組合員の団結。そのために職場集会・職場新聞・飲み会を重視した。職場集会は10回くらい開いた。短いときは10分程度というのもあったが、ほぼ100%の出席だった。短時間でも顔を合わせることも大事。飲み会も3回やった。組合員が、笑いのある明るい職場をつくることを意識してとりくむことが必要だ。

今後、高校との交流をすすめていきたい。高教組のHPに「障教部だより」を出しているので読んでほしい。

小田代議員(小浜)

転入される未組合員が学校に挨拶に来られた際に、分会役員で加入のよびかけをし、その方の知人の組合員からの働き掛けもあって、転入時の加入が実現。

今年度は職場新聞を出すことを目標にして、ほぼ週に1回のペースで行。内容は分会の活動だけでなく、飲み会での話や生徒のことなど職場での話題になることを意識して盛り込んでいく。

富永代議員(西陵)

共済レクの話をしたから、そこからこれまで組合が中心になって地域のレクなどをしていくことが話題になり、組合の話をする接点になると思っ

昨年、個人からの加入を働き掛けていた人がいるが、避けられる



▲木倉代議員(鳴滝夜)



▲富永代議員(西陵)



▲川上代議員(大崎)



▲樋口代議員(対馬)

釣船代議員(島工) 今年分会長になるとき、仕事を分担しようと提案し、組合の新聞を配る情宣係、教研等の出席をとる動員係、本部からの文書を担当者に分ける文書受付係など係をつくって分担している。

分会長が1人で背負わず、どんどん分担した方がいい。

専従体制はぜひ維持を

組合会社

鍛冶代議員(諫農)

専従補償積立金の見通しはどうなるのか。専従が1人になって7600万円が1人になって7600万円のか、見通しをつけて、一般会計に繰り入れる

ような活用の仕方考えたい。専従が1人になつたが、専従1人は置いといて体制は守つていかなければならない。

朝の補習から部活まで忙しくて休みがない。自分の仕事ができるのは7時半以降になる人がほとんど。そういう中で、放課後や飲み会の場を使って声掛けをしてい

参加者募集

東日本大震災被災地救援ボランティア

手続きは7月14日まで



全教・日高教は東日本大震災の救援ボランティアについて、5月に続き、夏季休業中の参加者を募っています。希望者は登録等を行ってください。

■実施時期 ①7月25日(月) ②27日(水) ③8月3日(水) ④5日(金) *この基本形に沿わないボランティアは全労連・全国災害による受付があります。■活動予定地域 宮城県石巻市■参加費用 原則参加者の自己負担(後日、組織内で募金にとりくむ予定です)■登録手続き 登録用紙(分会長が所有)に必要事項を記入の上、7月14日(木)までに長崎高教組本部にFAX(095・826・2976)してください。■その他 参加にあたっては特別休暇のボランティア休暇が取れます(東日本大震災については、必要な日数はすべて休暇になります)。詳しくは分会長、本部に尋ねてください。

木倉代議員(鳴滝夜)

職場討議での意見で、組合員拡大数について、再任用者等の継続加入の数と新規の加入数の内訳をきちんと出さないと実態がよわからないという意見があった。

また、再任用に関して、希望者が多くなつて、希望する所に勤務できない状況が生まれているので、再任用の希望実現のとりに強化する必要があるのではないかという意見もあった。

川上代議員(大崎)

若い人に組合アレレギがなくなつてきているという話があったが、無き働き掛けたい。

組合に入っていないが、若い人は入りやすくなつたと思うし、自分もつたというのがある。

樋口代議員(対馬)

組合に入っていないが、若い人は入りやすくなつたと思うし、自分もつたというのがある。

組合に入っていないが、若い人は入りやすくなつたと思うし、自分もつたというのがある。

お断り、大会討論の民主教育、教育条件の分野は次号で掲載します。